## 令和4年度 学校運営方針(はまゆう支援学校)

## ゆたかな心 たくましい力

健康で安全に生活する 子ども

よく考え、豊かに表現する子ども

めざす 子どもの姿 仲間を大切にし、社会生活に 参加する子ども

働く意欲・喜びをもち、 自立的に生きる子ども

教育目標

児童生徒一人ひとりの発達の段階、障害の特性及び生活の実態に即した教育活動をとおして、発達の可能性を最大限に発揮伸長させ、たくましく生き抜く力を育てる。

児童生徒一人ひとりのニーズや 課題に応じた教育を行う学校

児童生徒一人ひとりの人権を 大切にする学校



学校の姿

保護者や地域から 期待され信頼される学校

全職員が協働し組織的に取り組む学校

## 今年度の重点目標と取組

- 1 児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえつつ、自立と社会参加を実現する授業の充実を図る。
  - ①日々の授業改善(15分改善)や授業研究の充実
  - ②学習指導要領改訂の主旨や内容に関する共通理解
  - ③自立活動の指導の充実を目指した具体的取組(自立活動シートの活用)
- 2 保護者との信頼を深め、児童生徒に安心・安全な教育環境の整備を推進する。
- ①ヒヤリハットやアクシデントの情報共有と再発防止及び予防のための検証
- ②危機管理意識の向上と的確迅速な判断行動ができるための研修及び訓練等の実施
- ③地震等の災害に対する計画的かつ組織的な取組の充実を図る。
- 3 地域の人々や地元企業等との連携を深め、協働できる取組を推進する。(地域との連携から地域への貢 を視野に入れた取組)
  - ①地元紙やHPによる広報活動、マンスリータイムス等の地元町内会への配布(回覧)を通して、情報発信を活発化する。
  - ②学校開放月間(きのくに学び月間)や学校行事(はまゆう祭など)等、及び地域のゲスト・ティーチャー招聘を通して、積極的に地域との交流を図る。
  - ③学校運営協議会の活性化により、地域との協働を深める。
- 4. 全教職員が協働し、組織的な対応を心がける。
  - ①いじめ、不登校問題や家庭環境に支援が必要な児童生徒等に対して、ケースに応じて管理職・学部主事・生徒指導主事・養護教諭・Coなど、それぞれの役割を明確にした組織的な対応を行う。
  - ②「スクールワイド・PBS」の主旨を生かした全校研究に取り組み、学校全体として統一性のあるポジティブな行動支援を行う。
- 5 南紀はまゆう統合校における学校運営や教育内容・方法の具体化を図る。
  - ①高等部職業教育の充実(キャリア発達)に関する教育内容の精査
  - ②学校運営体制の検討